



いく。

#### 【シニア☆スター活躍応援事業】

斎藤議員：地域包括ケアシステムについては、市民側から見ると分かりにくいため、啓発はどのように行うのか。

星高齢・障害支援課長：昨年度策定した区の取組方針について、広報よこはまや地域ケアプラザの相談窓口を通じて啓発を進めていく。

#### 【都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業】

長谷川議員：地域懇談会は開催するだけでなく、実りがあるよう、サポートをしてほしい。

永井福祉保健センター長：地区の課題について開催前に地区担当へご相談いただき、課題を事前に把握し、サポートをすることができた。例えば柚木荏田南地区では、活動をしたい方と、支援をしたい自治会とマッチングができ、活動が活発になっている。引き続き、各地区で支援を進めたい。

#### 【障害者交流啓発事業】

木原議員：障害者の居場所について、夕方の受入施設が不足していると思うが、都筑区の状況について伺いたい。

星高齢・障害支援課長：区内の児童発達支援と放課後等デイサービスの事業所が 37 か所と近年増加しているが、障害者の居場所が不足していることについては大きな課題であると認識している。

石川福祉保健センター担当部長：確かに 18 歳までは手厚いケアが受けられるが、卒業以降の居場所については、全市的な課題である。

木原議員：共働き世帯が増加する中、夕方に障害者の家族を預ける場所がなく困っているご家庭もある。地域ケアプラザと連携しながら、解決策を見つけるよう、進めていただきたい。

#### 【メイドインつづき推進事業】

斎藤議員：テクニカルショウの都筑区ブース専属コーディネーターの役割や目的を伺いたい。

佐藤区政推進課長：中小企業診断士を予定しており、来場された方に都筑区の企業を紹介する。また、出展されている企業の商品を売り込むために、マッチングを行う。

長谷川議員：地産地消の推進、特に地産に関してどう力を入れていくのか。

佐藤区政推進課長：地産については、区の野菜を使っている店舗の紹介を、ホームページやリーフレットを使い、幅広く PR している。

長谷川議員：今回も継続するのか。

佐藤区政推進課長：はい。

草間議員：地産地消の推進について、横浜みどりアップ計画の一環として実施し、横浜みどり税を使うことはできないか。

佐藤区政推進課長：横浜みどり税を地産地消の取組に充当できるかについて、環境創造局に確認する。

草間議員：横浜みどり税は、農業の支援に充当した方がいい。

木原議員：都筑区の朝市において、野菜の販売だけでなく、調理について学べる取組はあるか。

佐藤区政推進課長：都筑区では、現在取り組んでいない。

木原議員：調理をすることから広がる地産地消の魅力もあるので、区で検討してほしい。

永井福祉保健センター長：食生活等改善推進員（ヘルスマイト）の方が、都筑区の野菜を使ったレシピを考案し、食育活動を行っているので、広げていきたい。

#### **【自治会・町内会支援事業】**

長谷川議員：マンション自治会設立支援について、大規模マンションだけではなく、規模の小さなところについても加入促進を考えていただきたい。また、平成28年と平成29年を比較したとき、自治会町内会加入世帯数が大幅に減少した理由を伺いたい。

江成地域振興課長：29年4月現在の自治会町内会加入世帯数が、前年と比較し、大きく減少している主な理由は、自治会そのものが解散した大規模マンションの影響が大きい。

長谷川議員：加入促進については、転入者や戸建ての住宅の方にも、不動産業界の方などと共に、対策を考えながら進めていただきたい。

#### **【災害にそなえる自助・共助の推進事業】**

草間議員：都筑区は公園が多いので、災害時に、公園の駐車場に車で避難する方も多いと思われる。そういう方への対応はどうか。熊本地震で、車で避難された方のマネジメントが難しかったと聞いている。

中野区長：基本的に避難する場所は地域防災拠点としている。車中泊の対応を含め、総務局や環境創造局などと、公園の災害時の対応を実際の行動を予測しながら検討する。

草間議員：地域防災拠点の運営だけでなく、例えば都筑中央公園の駐車場はどうするかなど、車中泊の対応について議論を進めてほしい。

望月議員：地域防災拠点の支援、また、災害時要援護者支援事業について具体的に教えていただきたい。

金指総務課長：地域防災拠点については、繰り返し訓練することが重要であるので、昨年の訓練で出された課題に対して、丁寧にフォローをしながら、訓練の支援を行っていく。また、よい取組について各地域で取り入れられるよう情報を共有し、改善を図っていく。

山本福祉保健課長：地域のご意見を伺いながら、災害時要援護者支援事業に取り組んでいる。要援護者名簿については、平常時から取組を行っている先行した事例の情報を共有している。

望月議員：重点事業ということで、発災時に地域防災拠点として機能するために、改善できるところは改善してほしい。また、要援護者支援名簿については、地域ごとの実情に合わせて、当事者の話を聞き、どうしていくのかを考えてほしい。

長谷川議員：災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）についての考え方を伺いたい。

山本福祉保健課長：今年は5年間の計画の最終年度であり、様々な課題があることを認識している。来年度以降については、これまでの実績を踏まえ、引き続き検討する。

長谷川議員：サポートが必要な事業なので、ぜひお願いしたい。

斎藤議員：市の被災者支援システムは、区でどのように運用するのか。

金指総務課長：現在、区における具体的なシステムの運用については承知していない面もあるため、総務局と連携を図りながら、事前に十分備えていく。

石川福祉保健センター担当部長：災害時要援護者については、要援護者一人ひとりの避難支援を目指している。

斎藤議員：被災時の家屋調査など、総務局で個々に判断すると被災者への支援が遅れるので、区で行うのかどうか気になっている。

中野区長：被災の支援は重要であるので、総務局と区の役割を協議していく。

**【安全・安心なまちづくり事業】**

長谷川議員：放置自転車の台数は最近 300 台程度で推移しているが、今年  
はどのように対策をするのか。

江成地域振興課長：近年は、放置自転車の台数は微減しており、駐輪場が  
少ないということではないので、引き続き、土日も含め取り組  
んでいく。

### 【つづき水と緑の魅力アップ推進事業】

草間議員：早湊川・老馬谷ガーデンを緑化フェアのレガシーとするために、  
次のステップアップに何が必要かという話があるが、課題は承  
知しているか。

中野区長：土地の利用状況に制約がある中で、東京都市大学や地域の方と  
連携し、よい形にしていきたい。

草間議員：緑化フェアで実施したレガシーとして残していただきたいが、  
水の問題や、土地の使用許可、東京都市大学から距離があるな  
ど課題に対して、どのように対応していくか。

中野区長：都筑区らしく、来年度以降どういうことができるのか検討する。

草間議員：来年度に期待する。

### 【まちづくり総合調整事業】

望月議員：まちの課題解決について、港北ニュータウンのまちづくりが理  
念とあっていないのではないかをいう地域の方の意見がある  
が、区としては、どう考えるか。また、地域交通についてボラ  
ンティアバスのようなメニューを他の地区でも実施する予定  
があるか教えてほしい。

佐藤区政推進課長：港北ニュータウンは、乱開発の防止、住民参加のまち  
づくりといった2つの理念がある。港北ニュータウンのまちづ  
くりについての地域の声については、都市整備局に伝える。ボ  
ランティアバスについては、池辺と都田で実証運行となっている  
が、乗る方の費用負担やボランティアの方の負担など課題を  
検討していく。ほかの地域でのボランティアバスの要望は特に  
ない。

望月議員：時代による変化はあるが、まちづくりのルールが地域の紛争の  
種にならないよう地域の方のご希望をくみ取って、まちづく  
りの方針を決めていただきたい。また、運転免許証を返上した方  
が交通手段について困っているという声などもある。地域での  
意見をくみ取っていただきたい。

	<p>中野区長：まちづくりについて、区民の皆様の声を把握しながら、都市整備局に働きかけていきたい。また、必要な交通手段についても、道路局や都市整備局から情報を得ながら考えていく。</p> <p>斎藤議員：ボランティアバスの運行について、継続するための課題とは何か。</p> <p>佐藤区政推進課長：費用の負担の考え方や、運行をしているボランティアの方の負担などの課題があり、道路局と検討する。</p> <p>斎藤議員：継続できるように要望しておく。</p>
備 考	